

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		1	本部町観光拠点形成事業						
	①	1	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ H28	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等にプランターの設置や花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター設置＝66基	プランター設置率:93.5% 【5年間の設置目標に対するH27年度までに設置する割合】 (5年間設置目標:1,008基 H24実績540基 H25実績270基 H26計画66基 H27計画66基)	(今後の展開方針) 5年間で1,008基のプランター設置等を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。 (今後の設置予定) H28年度66基	
	②	1	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ H33	タイワンハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約150カ所に設置	ハブ捕獲数年間:200匹	(今後の展開方針) タイワンハブの分布状況の把握に努め、密集地帯の駆除を重点的にを行い、個体数及び生息域の抑制を図る。	
	③	1	本部町観光プラットフォーム構築事業	H25 ～ H27	近年、観光客のニーズが多様化している中で、今後の観光推進を図るには、それらに対応した観光プラットフォームづくりが必要となる。そこで今回、本事業を本部町観光協会に委託し、観光コンテンツ開発・地域関連事業者との連携・販路開拓などを行う組織づくりを行う。	・地域事業者とのネットワーク構築 ・ビジネスモデルの検証 ・ワークショップの開催 3回 ・モニターツアーの実施 3回	・観光ビジョンの構築 ・ワークショップ参加者 各10名 述べ30名 ・モニターツアー参加者 各20名 述べ60名	(今後の展開方針) ・組織運営体制の強化・ネットワーク拡充 ・収益スキームの開発・検討 ・情報発信(SNS、イベント出展) ・県内外旅行会社との連携	
	④	1	山里山百合増殖普及事業	H25 ～ H27	在来種の山百合(鉄砲百合)を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。	自生山百合の増殖:70,000株 山里地区でのイベント(山百合祭など)の開催(1回)	イベント実施による観客数:300人 【3年間の補植目標に対するH27年度までに補植する割合】 山百合の補植率:100%	(今後の展開方針) 山百合祭などのイベント実施 山百合の補植 H25～27年度で120,000株 H25年度:20,000株 H26年度:30,000株 H27年度:70,000株	
	⑤	1	伝統興行観光化事業	H25 ～ H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。また、闘牛舎及び付帯設備を整備することで闘牛文化継承者の負担を軽減し、伝統興行の継承に寄与する。	・伝統興行の実施:3回 ・闘牛舎及び付帯設備(し尿攪拌庫、堆肥舎)の建設	・伝統興行の実施による観客数:1,377人(過去2年間の実績の平均値) ・闘牛舎及び付帯設備(し尿攪拌庫、堆肥舎)建設工事の完了	(今後の展開方針) 伝統興行の実施 H28年度:3回	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥		本部町2大まつり事業	H25 ～ H28	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつりの実施 ・海洋祭り 8月 ・桜祭り 1月	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人(2日間合計) ・桜まつり 10,000人(期間中1日平均) (参考)過去実績 ・海洋まつり H22年度6,441人、H23年度6,037人、H24年度8,629人、H25年度11,506人、H26年度3,043人 ・桜まつり H22年度8,202人、H23年度9,425人、H24年度9,668人、H25年度10,809人	(今後の展開方針) エージェント等との連携を図り、県外からも多くの方が訪れるようなイベントを目指す。	
1	⑦		本部町フクギ集落整備事業	H25 ～ H28	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギの剪定や案内板等を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	フクギ集落の排水 舗装・案内板等の整備工事	地域に訪れる観光客の安全・安心(剪定及び散策道改修による歩行者の安全確保)及び地域住民の定住環境改善(フクギ剪定による倒木等の危険性除去や日照確保)に寄与する。	(今後の展開方針) ・町や観光協会とフクギ集落地区のネットワーク強化 ・県内外旅行会社と連携したフクギ集落景観を活かした観光コースの検討	
1	⑧		八重岳観光拠点整備事業	H25 ～ H28	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊や桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水工事の実施 L= 300m 広場整備工事の実施 A=6,000m2 用地測量及び用地取得 A=4,348m2	排水路及び広場を整備し、法面崩壊や桜の倒木防止等を図り、観光客の安全を確保する。	(今後の展開方針) 八重岳入口河川の親水護岸及び排水路整備の早期完成 新たな拠点(広場)づくりに関する観光客誘客方策の検討	
1	⑨		本部町景観形成重点地区指定等事業	H26 ～ H27	本部町景観計画の景観形成重点地区に新たに「名護本部線周辺地区」「八重岳桜の森公園地区」の指定に向け景観形成方針・基準の検討を行い、住民ワークショップ等を開催して住民との合意形成を図り、景観審議会の意見も踏まえ景観形成方針・景観形成基準を作成し、景観計画の一部見直しを行い、景観重点地区として指定する。	景観形成方針の検討 景観形成基準の検討 住民ワークショップ等の開催 景観審議会への報告 景観計画の一部見直し 景観重点地区の指定	景観形成方針及び基準を作成し、景観計画の見直しを行う。 景観重点地区の指定箇所数 平成22年度 2か所 → 平成27年度 4か所	(今後の展開方針) 景観形成方針及び基準をもとに景観指導を行う。	
1	⑩		観光漁業実証調査事業	H26 ～ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	観光プログラムの実証 ・体験型観光の実施及びデータ収集 観光漁業基盤整備 ・生簀の設置2基	町内水産資源を活かした体験型観光の実施を行い、観光プログラムの構築に向けデータ収集を行う。	(今後の展開方針) 観光協会及び漁業協同組合と連携し事業展開する。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑪		周遊観光実証調査事業	H24 ～ H28	既存のタクシーを活用して、観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットの周遊観光を行う。また、各観光スポットの観光ガイドや各種体験観光サポートを行う人材の育成及び観光スポットの見所などをわかりやすく伝える案内表示設置などの受入環境整備や、町内宿泊施設と連携したパッケージを提案・開発していく。	周遊タクシーの稼働:3台 観光ガイド講習会開催 案内表示、パンフレットの作成等 新パッケージの検討	周遊タクシー利用客:200名 観光ガイド数:4名 案内表示、パンフレットの作成等:3件 新パッケージ:1件	(今後の展開方針) 観光協会による事業の本格稼働・ブラッシュアップ。	5月変更 (事業追加)
1	⑫		観光地安全対策事業	H27 ～ H28	本町には、県内最大の観光施設である沖縄美ら海水族館があり、県内外から年間430万人もの観光客が訪れており、安心安全な観光地づくりが課題となっている。そこで、本町の主要道路に防犯カメラを設置し、安心安全な観光地づくりを図る。	防犯カメラの設置:2台	防犯カメラ2台の設置完了	(今後の展開方針) 本部警察署等とも連携し、防犯カメラの利活用を図る。 H28年度 防犯カメラの設置:3台	12月変更 (事業追加)
2			本部町亜熱帯農業生産体制強化事業						
2	①		園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ H27	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きく、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数:3件	ビニールハウスの活用により生産性の向上の体制整備	(今後の展開方針) ・自然災害による農作物被害の低減 ・施設整備による産地形成	
2	②		もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24 ～ H28	これまで本町では本地元産食材のまとまった出荷組織がないため、町内ホテルや飲食店等では、地元産食材を活用できずにいました。地元で生産された島やサイやそれを活用した加工品などを地元で消費する『自産地消』を推進する直売所モデルを確立し、直売所の自立した運営を図る。	①直売所モデル実証・雇用創出 ②移動集荷・販売モデルの実証 ③地域連携加工モデル実証(加工部門の地域連携体制の構築、等) ④食育・食農教育モデル実証	・出品登録者数 : 80人 ・町内取引先数 : 40業者 ・もとぶ香ネギソース 平成27年度出荷目標:250パック	(今後の展開方針) H28年度末時点 出品登録者数(累計) : 100人 町内取引先数 : 50業者 もとぶ香ネギソース 平成28年度出荷目標:450パック	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	③		もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ H29	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する支援を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数:45頭	(今後の展開方針) 平成27～29年度にかけて45頭導入し優良系統への更新を進める。	
3	①		モトブンチュ人材育成事業	H25 ～ H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	・伝統文化継承教室開催240回(三線、琉舞、沖縄民謡読み聞かせ、昔遊び、空手、やちむん絵付け、物作り) ・町内イベントでの体験型プレイショップ開催3回	教室目標参加者数 2,600人 体験型プレイショップ目標参加者数 600人	(今後の展開方針) H25～H30延利用者数 15,000人	
4			本部町教育環境整備事業						
4	①		本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力向上を図るため、学習支援員の配置を行う。町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じてその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行い学力向上を図る。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 2校へ配置	・全国学力調査での全国平均との差 ①小学校 総合点 全国平均以上を維持 ※H26年の差 +0.6ポイント 全国平均 66.2ポイント 本町 66.8ポイント ②中学校 総合点 5ポイント向上 ※H26年の差 -13.5ポイント 全国平均 64.4ポイント 本町 50.9ポイント	(今後の展開方針) H33年度全国学力・学習状況調査全国平均以上。	
4	②		本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ H33	夏休みを利用し、町内の中高生を英語圏へ短期間派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(2週間)	将来を担う中高生を英語圏へ派遣することにより、国際語である英語学習への関心及び意欲向上、異文化を体験することにより、広い視野で物事を捉え、グローバル環境下で積極的にチャレンジする人材育成を目標とする。	(今後の展開方針) 平成27年度から平成33年度まで毎年中高生を英語圏へ短期間派遣	
4	③		音楽による人材育成・地域振興事業	H27	町内中学校の吹奏楽部に対し吹奏楽器を購入することで、イベント等活動の幅が広がり生徒の活動意欲を高めることができる。 学校行事だけではなく地域行事などにも積極的に参加し、「武本部」の精神を養う人材を育むと共に地域振興にも寄与する。	町内中学校2校 上本部中学校 19個購入 本部中学校 11個購入	演奏の幅が広がり学校行事だけでなく地域行事等でも積極的に演奏し地域住民との繋がりがもて地域振興につなげる。また、生徒の意欲情操向上を図ることを目標とする。 楽器購入後イベント参加回数:3回	(今後の展開方針) 楽器整備後は、町内の祭りや式典イベント等へ積極的に参加し、地域一体となって人材育成や観光振興の向上を図る。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	H27事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
5	①	赤土流出防止検討調査事業	H24 ～ H30	<p>本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び流出源となる河川堆積土砂の浚渫、フィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。</p>	<p>流出対策事業(工事)用地取得(7筆・394㎡)</p>	<p>流出対策事業:調査済流域1箇所用地取得(7筆・394㎡)の完了</p>	<p>(今後の展開方針) 調査検討業務の成果を活用し、順次町内で対策事業を実施する</p>	<p>12月変更(事業変更)</p>

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。